

まちづくり部会



天の川大清掃に参加

11月5日(日)に実施された天の川再生実行委員会主催の第4回天の川大清掃には、まちづくり部会を窓口として参加しました。当日は天気もよく、心地よい汗を流しました。

11月20日(日)のエコフェアでは『まちのもったいない』をテーマにパネル展示をし、来場者から意見を伺いました。

枚方のまちを知るためのフィールドワークは、厳寒期は休止し、暖くなる3月頃から再開いたします。ご期待ください。



環境教育サポート部会



エコフェアで環境紙芝居と自転車発電が子どもに好評

エコフェアでは、部会の写真による活動展示のほかに、屋外展示場で自転車発電装置を用いた環境体験学習と環境紙芝居、絵本、副読本の展示、読み聞かせを行いました。

コーナーを2つもらえたので同時に行うことができ、イスを7脚ほど並べ、来場者に座って聞いてもらうことができました。紙芝居は「生き生き地球館」から借りた手書きの大きな紙芝居だったので迫力がありました。また「もったいないばあさん」は楽しく読む中で、物と心の大切さを伝える絵本でよく聞いてもらえました。一方、自転車をこぐとテレビモニターが映る仕組みの「自転車発電装置」は、男の子に人気がありました。なかには何分もテレビが映り、周囲の人たちの喝采を浴びた子どももいました。スタンプラリーの1コーナーになっていたので昼前後はたくさんの人たちが訪れました。

(環境教育サポート部会・石川忠義)

運営委員会



運営スタッフに新メンバー

先輩に誘われるまま本会に入りました。会社生活で得た管理や経理の知識がお役に立てばと思っています。還暦を過ぎた今「まだ見ぬ方の花を訪ねむ」の心境になっている“三井靖彦(みい・やすひこ)”です。本会の活動が多岐に亘りまだ実情がつかめていませんが、よろしく願います。会社退職後はもっぱらアウトドア派に転向。ここ数年はハイキングや里山保全ボランティア、マラソン挑戦に頑張っています。趣味は古代史。京阪奈はこの時代の中心地で弥生から平安まで面白い歴史が一杯です。これからは認知症防止のため英会話を始めようかと思っています。

4月から、本会は法人組織になります。私たちボランティア会員の活動に変化はありませんが、今まで以上に組織としての活動や意識が求められると思います。さらなる発展に向けて頑張りたいと思います。

公共交通部会の「レンタサイクル実験」をごみ・エネルギー部会員が紹介します

環境にやさしい自転車利用を促進

中央図書館前でレンタサイクルを利用する親子



自転車を整備する「ひらかたエコサイクル」のメンバー

中央図書館 - 牧野駅で実験

環境にやさしい交通手段であるレンタサイクルシステムを構築するために、昨年 11 月 10 日から 16 日まで、「枚方市立中央図書館」「輝きプラザきらら」と、最寄り駅である「京阪・牧野駅」との間で、公共交通部会が実施したレンタサイクル実験にお伺いしました。

行政やエコサイクルなどと協働で実施

この実験は、健康的で環境負荷の少ない自転車の利用を促進することや、近距離における移動手段のマイカーから自転車への転換、穂谷川沿いに整備が進められている大阪府北河内自転車道の活用などの目的で、枚方市や、大阪府枚方土木事務所、枚方エコサイクルとの協働で実施したものです。

現在、中央図書館・輝きプラザきららへの交通手段は、京阪・枚方市駅からの路線バスのみで、最寄りの牧野駅からは徒歩で 20 分もかかることから、自転車道を活用したレンタサイクルという新たな交通手段を利用して快適に両施設へ足を運んでもらうことも狙いのひとつです。

利用者に「みどころマップ」を配布

さらに、駅と施設の往復だけでなく、少し足を伸ばして地域の名所を散策してもらおうと、利用者には「みどころマップ」を配布し

ました。

また、今回の実験で使用した自転車は、粗大ごみや放置自転車など不用になった自転車を修理・再生している「枚方エコサイクル」からの提供を受けました。

公共交通部会の鎌田徹さんは「レンタサイクルシステムが構築できれば、近距離の移動でマイカーを使う人が減り、環境保全に役立つのでは」と話していました。

<取材者の感想>

利用しやすいよう工夫を

市内で自転車専用道路がもっと各所で整備されること、及び自動車より自転車の方がいろいろと有用性があることをもっとアピールして、またレンタサイクルを利用しやすい工夫をして、今後レンタサイクルが広く普及することを願っています。



穂谷川沿いを走る利用者。穂谷川には、かるがもの親子がすいすい泳いでいました

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

NPO法人化に伴い事務局を市民で運営 事務局の有償職員を公募予定

運営委員会では、4月のNPO法人化に向け、事務局で勤務する有償の職員を、若干名公募する方向で検討を進めています。

これは、法人化に伴い、今まで行政（枚方市）が担ってきた事務局を、市民が担うことになるため、法人独自で新たな事務局職員を雇用する必要がでてきたからです。

新しい事務局を確立するためには、スタッフの充実は欠かせません。会員や知り合いの方などで事務局職員にふさわしいと思われる人がいましたら、ぜひ応募いただけますようお願いいたします。

公募の詳細は、決まり次第、ホームページやメールマガジン、またはハローワークなどで発表しますので、今しばらくお待ちください。

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。
入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局まで申し込みください。

「環境のへえ〜」Vol.7

日本は世界で一番多くティッシュペーパーを使っている国です。ふきんやぞうきんの汚れを落とすのに使う水の量と比べて、ティッシュペーパーを作るときに汚す水は、2倍ほどにもなります。

もし冷暖房の温度を2度ひかえめにする、テレビをまったく見ないのとほぼ同じだけ二酸化炭素を減らす効果があります。

地球は「水の惑星」と呼ばれていますが、97.2%は海水で、真水もほとんどが北極と南極の氷です。水道水として私達が使えるのは川の水で、地球の水全体のたった0.0001%しかありません。日本は雨が多く、水に恵まれた国ですが、川が急流で短く、降った雨がすぐ海に流れてしまいます。そのため、利用できる水は限られています。

「やってみようエコチェック」講談社 著者 高月紘 堀孝弘

まちやバスについて意見交換しませんか 1月28日（土）楠葉公民館 くずは・男山バスタウンマップづくりワークショップ開催

公共交通部会では、環境に優しいバスの利用を促進するため、くずは・男山地域のバスタウンマップづくりを進めています。

昨年末に実施した"まち"や"バス"についてのアンケート調査をもとに、マップづくりのワークショップを開催します。くずはや男山の"まち"や"バス"に関心ある方、くずはや男山をもっと知ってみたいと思っておられる方など、ご参加

をお待ちしています。

日時：1月28日（土）午後2時～4時

場所：楠葉公民館 音楽室

応募資格：どなたでも参加できます

定員：先着30人

応募方法：1月20日までに、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、はがき、ファクス、Eメールで事務局へ

会員数(平成18年1月1日現在):正会員197名(個人162、団体35)、賛助会員40名(個人33、団体7)

団体紹介 コーナー 大阪ガス(株)

設立：1897年 社員：7081人
コミュニティ室副課長：橋本 茂
<http://www.osakagas.co.jp/>

天然ガスをはじめ地球環境にやさしい製品・サービスを提供

大阪ガスグループでは、地球環境に優しい天然ガスをはじめ環境負荷軽減に寄与する製品・サービスを提供し、お客さまとともに環境負荷を軽減する取り組みを行っています。

天然ガス自動車の普及を促進

天然ガスは、石油や石炭といったほかの化石燃料に比べると、燃焼時のCO₂やNO_xの発生量が少なく、SO_xが発生しないクリーンなエネルギーです。天然ガス自動車は普及促進中で、現在、近畿地区では約6400台が走っています。

冷暖房温度の適正化など省エネに取り組む

温室効果ガスの発生を抑制するため、ガス製造時に発生する冷熱・圧力で電気を起こしたり、事務所での昼休み時間の消灯や冷暖房温度の適正設定に取り組んでいます。

環境教育を支援 大阪ガスでは、エネルギーや環境教育の支援活動を行っています。

[連絡先：大阪ガス北東部リビング営業部コミュニティ室 T(0729)66-5382 橋本まで]



ガス科学館や姫路ガスエネルギー館での校外学習や、学校の出張授業、団体様向け環境セミナーを実施中！

エネルギー効率のよい機器などを開発

CO₂排出量抑制貢献のため、エネルギー効率のよい機器やシステムの開発、普及に取り組んでいます。家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」は、平成17年度環境大臣表彰を受賞。家庭用潜熱回収型給湯暖房機「エコジョーズ」はバーナーの形やごとの高さを工夫した高効率コンロです。ぜひ一度ご覧ください。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は自然エネルギー学校やレンタサイクル、環境くらわんか塾、ブラックイルミネーションなど、多くの成果を残しました。「枚方を環境先進都市にする」という目的のもとに、会員の皆さんがそれぞれの立場で持てる力を存分に発揮された成果であったと思います。今年はNPO法人となり、活動の場も広がります。組織の形が変化しても会員ひとりひとりが原点を忘れず、市民・事業者・行政の三者が協働して事業を推し進めていくことができれば、さらに大きな飛躍の年となると信じています。(鍛冶谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第8号

平成18年1月1日発行(年4回発行)

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

